

片山かおるの ちょっとカエル通信

2013年3月7日

特別号 vol.3



片山かおるプロフィール

1966年、長崎県生まれ杉並育ち。都立豊多摩高校卒業。中2と高2の男の子とパートナーと猫と共に前原町在住。映画配給・上映などに携わる。2009年より市議会議員。市民自治こがね共同代表、全国フェミニスト議員連盟共同代表、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。

こんな小金井にしたいね！

片山かおるのまちづくりプラン 2013



子どもが
暮らしやすい町は
おとなもきっと
暮らしやすい！

2 子どもの権利条例を 活かそう！

- ★子どもの意見を市政に反映する「青少年議会」復活
- ★子どもの権利を守る「子どもオンブズパーソン」を
- ★就学援助と教材費の公費負担を増やし、教育費無償化へ
- ★保育料の格差是正、子どもに寄りそう小規模異年齢保育を
- ★児童発達支援センターからインクルーシブ社会を発信

原発のない
平和な未来も
選びとろう！

ごみ処理問題を通して、
市民参加の環境先進施策を！

- ★ごみの発生抑制をすすめ、「ごみゼロ・ウェイスト宣言」を
- ★ごみの減量や処理は市民参加で検討する場を

1 「市民参加」を 市政のど真ん中に

- ★開かれた議会にするための「議会基本条例」を制定
- ★市議会が学校などに出張し、子どもや市民と意見交換
- ★議員の審議会参加を減らし、報酬の二重取りは廃止
- ★市民が主体の市政を「市民協働条例」で
- ★「公契約条例」を整え公正で男女平等な労働環境を

3 人がつながりにぎわいのある 格差のない町に

- ★大規模開発はやめ、高齢者・障がい者・外国人も暮らしやすい町に
- ★公民館、図書館など社会教育環境の充実
- ★多様で自由な表現を認めあい、町をアートの舞台に
- ★地域通貨で経済活性化
- ★空き家や空きアパートで安い賃貸住宅を

4 平和な世界づくりを 発信！

- ★平和憲法を守り、平和週間を平和映画祭に
- ★「日の丸・君が代」の強制をなくし平和教育の充実を

5 脱原発、地球温暖化防止の 先進都市へ GO!

- ★「脱原発都市宣言」を市民参加で制定
- ★アンペアダウンと市民ファンドの再生可能エネルギー発電を
- ★旧「雨デモ風デモハウス」から環境配慮の先進施策を発信
- ★市民測定 of 放射能測定室を活用
- ★有機野菜を学校・保育園給食に

街角
リレートーク

3/16 (土) 16:30~17:30
武蔵小金井駅南口近辺



3/24は
小金井市議会議員選挙です



私たちは福島を忘れない

女性の力で平和な世界を選びとろう！

2月16日、「片山かおる&ハイロアクションの武藤類子さんと語ろう!」が萌え木ホールで開かれました。武藤さんは、福島の里山で自然と共生する暮らしを紡いできました。しかし、3.11の福島原発事故によって暮らしは一変しました。講演では、最近の福島状況や、武藤さんが団長を務める福島原発告訴団の活動、里山の暮らしなどについて語っていただきました。

講演のあとにおこなわれた武藤さんと片山かおるの対談では、「何を継続して訴えていくべきか」「東京そして小金井で、私たちは何をしたらよいか」について語り合いました。

「いまは、汚されたものの雑巾がけをしている」という武藤さん。次世代の人たちが希望をもって生きていける世界をつくるため、なんらかの道筋をつけることが「雑巾がけ世代」の責任だといいます。そして東京でできることを2つ提案してくれました。

ひとつは「暮らしを工夫してエネルギーを節約すること」、もうひとつは「福島を忘れないこと」です。記憶が薄れているのではなく、記憶を風化させる巧妙な操作がおこなわれています。それを食い止めるためにも、福島のさまざまな状況に目をむけることが大切です。

小金井市議会では、「子ども・被災者支援法」について意見書が3回提出され、いずれも可決されています。そうした自治体からの支援も、可能な限り追求していかなければなりません。

*武藤類子さんの講演映像は、片山かおるのホームページで見れます。

片山かおるの市政 Watching

第一回定例議会が3/7に終わりました

来年度予算371億6500万円が可決。私たちは新庁舎の予算がないのに、再開発第2地区の予算があることなどから反対しました。始まったばかりのスクールソーシャルワーカーも削減されています。

議会の初めには、男女共同参画室を企画政策課から市民部に移動し、市民協働といっしょの係にするという条例が出されましたが、市民からの陳情と熱い陳述もあり市長提案は流れました。市民協働と男女共同参画がこれからどうなるのか、見守っていかなくてはなりません。

私たちも

応援します!

矢島床子 (母と子のサロン、
福島助産院助産婦)

鎌仲ひとみ (映画監督)

山田真 (小児科医)

上原公子 (元国立市長)

イトー・ターリ (パフォーマンス・
アーティスト)

雪子・F・グレイセング (作家)



片山かおる連絡先

小金井市中町3-10-10-103 tel:042-316-1511

<http://katayamakaoru.net>

office@katayamakaoru.net

ツイッター&フェイスブック

→「片山かおる」で検索!

ご意見・ご感想をお寄せください。

応援します!

路地から声を上げよう

中央アフリカのルワンダでは、長く陰惨な内戦の後、国会議員の半数以上を女性が占めるようになりました。男性に任せておいたら、また戦争が起きてしまう。平和を実現するには、女性が政治に関わるしかなかったのです。原発事故の後、私は市民の立場にたつ多くの女性議員に支えられてきました。そのひとりが片山かおるさんでした。政治は、特定の人々が特定の場所でやるのではなく、辻々で、小さな路地の中で行わなければならない。その路地に立ちつづけてきた片山さんをぜひ応援してください。そして、みんなで新しい世界をつくっていきましょう。

武藤類子 (ハイロアクション、福島県在住)

わたしも

応援します!



福島とともに歩んできた人

震災から約2年、今なお収束がみえず更に複雑化する福島の現状を片山かおる市議は見続けておられます。

御縁は、避難した子どもの健康相談会を立ち上げる際の会議でした。都庁との折衝や、面倒な書類作成など、私には分からないことを肩代わりしてくださり、実行委員会の事務局長というにふさわしい活動を続けてくださっています。3.11以降、福島の問題に心を砕き一緒に活動をしてくださる方々の手と手を繋げてくださいました。

この健康相談会も2月10日で3回目を数えました。医師との連携により、今回からは子どもの健康検査の紹介状を発行できるようになり、不安を抱える避難者に寄り添う健康相談会の必要性を感じています。

脱原発活動、告訴団東京事務局や健康相談会の活動など、これからも私たち福島とともに歩んでくださることを願い、応援のメッセージに替えさせていただきます!

増子理香 (福島避難者子ども健康相談会 代表、
福島から母子避難中)